

大学院 教育学研究科 学校教育専攻 主催 2012年度 修士論文発表会 学校教育専攻 第5期 2年

日時：2013年2月22日（金） 13：00～

場所：13号館4階 13403教室

発表時間：発表30分 質疑応答10分

13:00～13:10

研究科長挨拶

- | | | | | |
|---|-------|-------|--|----|
| 1 | 13:10 | 小原 梢 | 音楽学習における創作活動の追究
—音楽と言葉のかかわりに着目して— | 1頁 |
| 2 | 13:50 | 楠 聖次郎 | 小学校高学年の投能力向上プログラム開発に関する研究
—段差めんこ遊びとうちわ投げ遊びが投動作と飛距離に及ぼす影響— | 3頁 |

14:30～14:40

【休憩】

- | | | | | |
|---|-------|-------|---|----|
| 3 | 14:40 | 須藤 峻介 | 実感を伴った理解に着目した理科のモデル授業の研究
—児童の「わかる」授業の追究— | 5頁 |
| 4 | 15:20 | 千代間涼子 | 主体的に学習に取り組む態度育成のための授業への導入
—大村はまの授業実践の分析を通して— | 7頁 |

16:00～16:10

閉会の挨拶



教育研究科科長 平沢茂先生の挨拶

謝 辞

修士論文発表会を行うにあたり、多くの皆様の温かいご指導とご協力を頂きましたことに心より感謝申し上げます。

開会にあたって、研究科長の平澤先生から発表に向けた激励の言葉を、閉会では本学教授嶋野先生から一人ひとりの発表に対し講評を頂きました。また質疑応答では、足を運んで頂いた本学の先生方、院生から示唆に富むたくさんのご意見を頂戴しました。深く御礼申し上げます。

私たち5期生の4名は1月に修士論文を提出し、口述試験を経て、本発表を行う運びとなりました。2年間の集大成となった今回の発表では、各々が入学時から一つ成長した姿をお見せすることができたのではないかと考えています。しかしながら、研究者としてはまだスタートラインにたったばかりです。修了後は皆教員として教育現場にかかわることになりますが、今回頂いたご意見を参考に新たな気持ちで自分自身の研究と向き合い、修士論文からさらに発展したものにできるよう一層精進致します。そして研究の成果を現場に還元できるよう日々努めて参ります。

本発表会にご参加頂いた皆様、本当にありがとうございました。またご指導頂いた指導教員、副指導教員の先生方2年間大変お世話になりました。

教育学研究科第5期生一同
以上

